

竜丘時報

長野縣下伊那郡竜丘村誌地
 編輯者 今村玄吾
 印刷所 今村玄吾
 發行所 竜丘青年會
 代表者 今村順三
 長野縣下伊那郡竜丘村誌地
 印刷所 龍共社印刷所

農村に於ける農人と商人

現在の様に不況が続いて農村が生活困難に陥るに、其の對策として購買組合などが施設され、生活必需品を最も安値に提供する様になつた爲か農人と商人は感情の上に非常に對立的なものになつてゐるに見られる。農村に於て若しそれが事實とすれば甚だ恐るべき現象であり、自治の上にも支障を來す様な事態ならぬといふも限らぬ。農人の商人に對する氣持を一應新めて見る必要があらう。

上りの農村に對する對策として、農村に最も多くの人口を有する農人を目的とするは勿論ならず、それだから云つて前提的に農人と商人の對立の意味を有さない筈である。是は個人的に或は團体的に解釋の仕様によつて起るものであつて、それが必ずしも順當なものだとは考へられない。

農人の多くの人がもし商人を少くも農村の商人を農人の寄生虫で中間搾取者であるに考へるならば間違つてゐる。勿論商人の中には、農民の血と汗の結晶を暴利に依つて奪ひ取つてゆく者もないではないが、それによつて全部の商人を仇敵の如く思ふなればそれは甚しい誤解であり、又商人は直接生産者でないが故に搾取云ふなれば、是もあまりに輕率ではなからうか。少くも農村の商人も亦立派な労働者である以上、そこにエネルギーの消費に依る代償を

漫筆

丘桐人

■特異農家
 篤農家と稱する好運の境遇に置かれた特異な農家は、一般に宣傳し、眞似るのであるが之は眞似る方が愚かな事である。經營には耕地、家屋延びては労働能力及び資力の點迄同一乃至近似の状態ではなくて、先づ順序として所謂篤農家なるもの、如何に好運の條件に富んでゐるかを實例で立證して見る、左の様な點の全部が多數に適合してゐるのを發見する事が出来る。

一、耕地の條件
 耕地は平坦で肥沃、然してそれが住宅の近傍に存在して居る。故に耕作は簡易で土質よく地味肥え、多毛作は可能勿論多収出來、有蓄經營するも既肥堆肥の運搬に造作がない。

一、住宅の條件
 住宅の周圍が廣大な自己所有で適當な設計建築が出来、果樹栽培の如きも設備費管理

偶感

南北生

「讀書放浪」
 智識に於て、大量に云ふ事より、良きもの、少量を選ぶこと云ふ方が大切である。青年は研究力篤く、時代を觀る眼が新しく、勞働に倦まずよく耐ゆるからである。之に反して老人ががらるる農家は舊法を墨守し、退嬰保守、一擲の勇斷なきものは敗殘する入生四十歳前成功しない農夫は、大体慘敗したものを見て差支無。

女子老人が後衛して居る仕組が篤の家の大部分である。

一、地理的の條件
 農産物消費地に近く、道路は概ね平坦、水利良好、日當り亦良きの地を領す。

青物擔子が頻りに來訪する處は期せずして却て青物屋に有利作物を指導される。篤農家となり得る。然し青物は運費の増大するもの故、道路が悪くては駄目だから邊邊な土地に篤のう家は絶無だ。土地の悪い處のう家は如何に糞骨を折つても篤のう家にはなれない。

■人為工作以外の景氣
 不景氣云ひ、不況と稱するも結局現ナマが無い事だ。其處で不況對策か經濟更生策なんて、お互様に脳味噌を絞つて所謂文藝の智恵云ふ奴で、デツチ上げて見たところ、消費經濟の緊縮案以外方法が無かつた。

本來、それらの對策や更生案は現金收入の増加を計るべきが最上であるのだが、偏在した通貨は、減多な事では流通して來ないので、衣食住に對する慾望を極度に押えつけ

笑えぬ事

障子

「今年が良いあんばいに運んでシミでお蔭で氷豆腐屋も一息します」
 「へーお蔭でな」
 「さーも近頃のシミでは俺達の水引商賣もあがつたつきりだよ、少しシミがゆるんで呉れにや」
 「ほんこーうです。俺りや鼻の下が乾いて了ふよ」
 「なんて同じ村に住み乍ら一方は寒さを喜び、一方は寒さを歎く、天の神も弱つて了ふだろ。」

×
 ひこいき多角的農業經營かハイカラ事が流行した話による、理想はすばらしいものだ。で少し頭の良かりそうな早く一儲を思つて？
 多角形の波に乗つた連中、今果して多角形農業經營の理想に近づきつゝ居るでせうか？
 其れはさうして何々氏農業界の權威者の講演會亦最新版何々農業經營なんて云ふ本も讀まず、亦何々氏の經營視察なんて事には一向無頓着で其のすきにコツ／＼と土を耕して居るごつい連中を、つら／＼見較べた時にさうでせう今の處ではごつい連中の方が勝利ではないでせうか？

×
 昨年の承價の安いのに見限りをつけ今迄の親と頼んで居た桑株を家の見えぬ程積んだ連中、こいで了つた時分から

何處に置くかの問題である

「閑さへ仕事の價値」

「二人行即一切行」

「視察流行」

て、更に生産労働の加重を以て流行的に協議會のお茶を濁した程度のもので、案は案以上のものたり得ず、對策の爲の對策に終つて居るの状態である。

然るに一陽來復の昨今濱の糸相場の高騰するや俄然として景氣招來を許しに（此の場合實際的には通貨は手許に集まつた眞平の好景氣では無く、一種の錯覺に似た思惑であるけれども……）正月酒は充分吸収し、防寒具は仕入れるてな具合だから、景氣不景氣の因つて來る源が認識されて始めて、其の對策が眞實に考究され、實行されて來るのである。

それで景氣の好悪云ふ事は究極地方の微々たる存在の連中が區々たる研究や論議や決議では、到底變轉し得るものではなく、却て多くは人心を恐怖し悪化した位が關の山で、吾々百姓共は景氣に對しては無能力者で盲従するよ方法の無い宿命にあるのだから、不景氣のドン底に居る心算で終始活動するより最上方策は無。

此の頃に至つて漸く亂讀して無駄な精力を、觀念の混沌を來す可きで無い事を感じて來た。

觀念の蓄積だけでは身體の實力にはならない事に氣がついたからだ。

二月のうちには切らさばなるまい云ふので果樹の剪定を始めたが、枝上からの眺望が良いで腕をさばらせて、眼を樂ませる。

足下の垣根圍いの狭さに較べてさうだ。山、野、田、畑の廣大な眼界は……誠に心を樂

しませる自然の山野は隣時誰人の所有でもない筈である。小春日和らうら、かな日光のまばゆさの中に、展がるのは見なれた景色乍ら又一段良い梯子二間の高さで天下我所有

の眺を樂しんで居る。寺の鐘が鳴つた。忽ち無我の境は胃袋の自覺によつて、有我の境に覺されたのである。

大分承價が頭をもたげて來たで亦桑株が戀しくなつて來たが、枯れた桑株はさうしやうもない。

いくら丁寧に植えて拜んだ處で枯れた桑株に芽のふき様がないで夫婦喧嘩の一つ位してまた桑苗を捜しに出掛ける。今年植えたて今年のにわならぬ其の桑苗の一人前になる頃亦承價暴落はきまつた事だ、こんなへまを踏んで居ては浮ばれ様がない。

一口話の様であるが現にかよな連中が多く居るから笑えない。

×
 話に依るに昨年など大分商の拔賣りがあつたさうな。此の拔賣りのわけはさうださうな。一昨年の赤字の處へ生活に窮して取れぬ先の商を當に前借して今度商を持つて行つた處で貰つて來る金手はないし亦生産の假渡しより時價相場の方が高價だったので尊い組合精神も忘れて、否悪い事は知りつゝ、目前の利を糧に目が眩んで、夜こつそり拔賣りださうでせう。昨年の暮から承價は上る配當の話も時々で、拔賣連中あたり口がふさがらぬ。やはり貧乏人は儲かる事のけつ追ひばかりの損のしきほし是も笑へぬ事實だからね。

組合製糸工場管理に提出された
理上に於ける 缺陷

組合製糸研究會に提出された
組合製糸工場管理上に於ける
缺陷は次の如くである。

- 1、役員
イ、常務役員にして製糸現業乃至工場管理に無智識なるもの多し。
ロ、常務役員にして現業員を無視し下級の従業員に對し直接技術上彼是指圖するもの多し。
ハ、平役員にして常務役員の施設に對し無理解なる干渉をなす者有り。
2、職員
イ、事務員職員が現業部を無視する傾向あり。事務部と現業部の連絡上欠くるもの多し。
ロ、事務現業職員も其の人物技術營業製糸に劣るもの多し。
3、職工
イ、組合員の子女多く、之等は概ね我儘にして現業員の命令に服せず訓練統制上欠くる所甚だ多し。
ロ、通勤者多く出欠常無く訓練統制上欠くる處多し。
ハ、操業日數僅少の爲女工移動多く技術の統一困難なり。
4、一般給與問題
常務役員に對する報酬事務長現業長に對する待遇不充分にして有爲の人物を得られず、報酬給與の只安きを以つて足れりとする風有り。
5、設備に關する事項
イ、揚返窓概して不十分なり

時事解説

北鐵問題
一ヶ半年餘の交渉を續けて一般に注目的となつて居た北滿鐵道讓渡問題は、去る一月二十二日愈々協定が出来て滿洲國に讓渡された。此の鐵道は延長千七百餘軒で價格は六億圓餘の申込だつたが、一方滿洲國では五千萬圓以下に云つて話がなかく、成立しなかつたが、我が廣田外相が熱心に斡旋の結果さう／＼一億七千萬圓で纏つたものである。是に依つてソ國は實質的に滿洲國を認めた結果となり、日露關係に於ける極東問題を一掃したのである。

豫算の其後
一時議會解散まで云はれる

2、糸條の乾燥設備概して不
充分なり。
3、貯水装置概して不十分な
り。
3、技術に關する事項
一、原料合併に欠くる處あり
一、荷口の原料雜駁なる事
多し。
二、原料に拘はらず高格品を

温床育苗中注意片々

温床の注意事項云つたつて
その人々の技術にも依るが、
概して天候に支配されて成績
を左右する。
今年は今迄の天候からして、
素人でも良く出来る様に思は
れる。それでも二三の注意を
舉げて見る。醸熟物踏込は晴
天を良しとする、其れは醸熟
物中のバクテリアが直ちに活
動を開始して早く發酵する。
曇天其他は反對である。
障子に引油して一週間以上日

の望む傾あり爲に糸量
その他に犠牲を拂ふ事あ
り。
3、女工の技術區々にして概
して不良なり。
4、煮繭繰糸場返束裝各部間
の連絡上欠くる處多し。
二月十六日 以上

豫算があくまで妥當なもので
あるならば、例えそれが十分
の一に足りない金額であつて
も第二豫備金に對して毫も追
加する必要はなきもので、若
し多數黨を恐れて申譯的な追
加豫算であるならば、政府は
自分の爲に國費を濫用するわ
けで、國政を冒瀆するも甚だ
しきものである云ふ様な批
評をされて居る。
尙十年度豫算は廿一億九千
三百萬圓で内軍事費は約十億
二千萬圓で有り、豫算案後の
議會に相當活氣を見せ波瀾を
豫想されて居るものは五十萬
元問題にか、はる新業者の大
反對を見てゐる米穀統制案、
臨時利得税問題それに附隨し
て地方交付金問題、内閣審議
會等である。

金約款問題
是は米國の問題であるが其

るから直播浸種を發芽して
から播くのさあるが日時の關
係其の他で人畜の体温を利用
するの最も可きだが、播
種當日一割乃至三割位發芽
した程度を可とする。條播で
原播をせぬ様にすること。
發芽二枚頃晴天の日を選び
て第一回移植を行ふ。
此の時長根の先端を切斷して
土を極めて落さぬ様に務める
事。尙移植後一、二日は温湯
を撤布し障子上に藁乃至は藎
の目補をなす事。通常二回移
植を理想とし、努力の點そ
の他で一回にて完了のアゼに
は豫定アゼ間株間を保つて定
植する。植傷も恢復して日
補も取りて来る頃は三月も下
旬頃日の光も強く成る故藎よ
り障子を明けて通風の便を計
るべし。亦雨降りの場合には
務めて通風の便に重きを置き
適度に通風に務むべし。尙雨
水は絶対に浸入せぬ様注意す
べし。

裁判の如何によつては世界
的に重要な影響を與へるもの
で米相場等にも相等的影響を
持つものとして注目されて居た
が二月十八日聯邦大審院に於
て判決の結果大體政府の勝利
となつて不安は一掃された。
此の金約款問題は南北戰
争當時發行された、不換紙幣
(綠紙幣)に對し、公債私債は
發行當時の標準重量によつて
元利を支拂ふものとの約束され
て居たもので、是が當然平價
切下によつて問題となつたが
債務者の負擔を減じ産業復興
を行ふ云ふブルーズベルトの
政策で、その約束を廢棄して
しまつたので、債權者が共同
反對し憲法違反として政府に
對し訴訟を起したもので、判
決の内容は大體私的關係に於
ては現在の非(平價切下げ後
のもの)に依つて支拂ふを差
等である。二月廿日記(支)

地方政度改正案
かねて内務省で研究中であ
つた地方政度改正案は、此の
程ようやく成案上奏御裁可を
得て月末議會に提出の運びに
なつて居るが、町村制の物別
なもの。
一、租稅滯納處分中のものは
公民權を停止する事。
一、議員及當選者に缺員を生
じたる場合選舉の期日よ
り一年以内は一般次點者
を繰上げて補充する事。
一、選舉に就き同數得票者あ
る時は更に抽籤の法を用
ひる事。

泥仕合終つて議
會も大分ねむさ
うだ。
政府は何んでも
かんでもオツイ

シヨを以て自分の首を押えて
ゐる。
豫算だけは承認しよう。解散
だけは回避しよう。政黨の信
用回復だけはあきらめよう一
か。
○
なんて云つて居ますよ、一大
政黨も是迄云はれるミミジメ
なモンデス。
○
こんなさまじやア、國民は何
時迄たつても樂は出来ん。
○
いつでもそうだが、議會は公
然と國民に見せれる場ぢやア
ない。
○
梅香つて春近きに有り。

地方政度改正案がものになれ
ば税金滯納者には熱いお灸だ
り。
○
近時吾青年會へ視察來村シキ
リ。
○
何んだか那青加盟のオツを引
きに来る様でくすぐつたい。
まだ加盟の必要はあるまいて
な。
○
生糸の値は依然ホガラカこん
な風で春蠶までデリ／＼上つ
て行つて呉れ、ば、申分ない
が?
○

大 安 賣
若木屋へ！ 若木屋へ！
初午の參詣人は
みんな安い 若木屋へ
(丸三上電話一四番扱)

五 割 引 撮 影
名刺版六枚三十錢以上
時又觀音平 福與寫真館
出張撮影致します

春の賣出し
學生服▲帽子▲シャツ▲
毛糸▲化粧品▲日用品▲
時又 吉川屋洋品店

移 轉 披 露
今般都合に依り左記へ移轉致しました。
倍舊の御愛顧御引立を願ひます。
時又 米穀商 玉屋 商店

大和魂の『剣道』は神州の誇り

鼓舞 旬日の中に

吾村で二回の大會開催

●青年會及び訓練所で●
 身心の鍛練としてその最も雄なる競技は我劍道である。萬物チン／＼として凍付く朝まだき、さては寒風肌を劈く夕に、あの勇しき氣合の聲を聞く時、既に神州は絶体安泰なるを惟ふ。

こゝに竜丘青年會体育部は二月十一日紀元の佳節を嘉して劍道大會を開く、先づ審判に小林初段を迎へて個人對抗から始まり續いて支會對抗にうつる、昨年の優勝上川路支會は優勝戦にふさわしく接戦又接戦、終に同點の星數に及びこゝに最後の優勝を決める各主將對抗は文字通の火の如き勢戦の結果六對五で長野原支會優勝、引續き成績表賞品授與了つて萬歳三唱裡に元氣で閉會。

因みに當日の個人優勝者は左の通りである。

鹽澤 勘一 今村 順三
 下平 博 伊藤 五郎
 木下 源吾 久保田 經男
 須藤 大尉を迎へて

青訓第七支會

『劍道大會』竜丘で第七支會川路、三穂、千代、龍江、上下久堅、竜丘の七ヶ村青年訓練所は二月十七日竜丘小學校々庭に合同訓練を開催、三百五十の青訓生は威風堂々、須藤大尉の閲兵を受け續いて各村對抗の劍道試合に入る。自村の名譽を雙肩に擔ふ代表選手各九名は虚々實々秘術を盡して戦ひ、觀る者をして自から手に汗を握るの熱戦を展開し、終つて大尉よりの講評を受けラツパの音も高

初午祭り

三月七日長石寺觀音
 養蠶守護には
 靈驗灼然
 地元各團體の準備なる

觀音として評判である。時又長石寺の觀音様は初午祭は古今東西を通じてあまりにも有名であるが、こゝ三月の七日が丁度その當日に當り、例年の如く亦參詣人の氾濫で相當困難するだらう。

尙地元商工會は當日の出入を豫想して早くも大賣出が準備に忙殺されてゐるが、各商店當日の大廉賣は時節柄大奉仕の品々で相當參詣人の目を引く事だらう。同青年會は例年の如く物品陳列即賣會を開催し決定、村一般からの出品を希望してゐる。また女子青年會のおしるこ屋も今から大童になつてゐるから當日は朗らかなサービスで參詣人に相當な人氣を得ることだらう。

ちなみにこの觀音様はこの界限切つての一番古い歴史を有し、昔から靈驗灼然な傳説も色々傳へられて特に養蠶守護を開催した。

家庭衛生講演會

竜丘女子青年會主催、全婦人會後授の家庭衛生講演會は三月の一日飯田町の名醫師を迎へて時又長石寺に開催した。時節柄なかくの盛況で各自衛生はまず家庭からの念を新にして解散したが全會は何時にも共同して一般家庭の爲に社会的に努力して居り、中でも妊婦無料相談などは世間から舌贊をアビてゐる。

豫算村會

竜丘村豫算村會は二十六日から二十七日へ引續いて開催したが今回の豫算の内例年に對し特種は衛生費の高額である

花嫁送別會

青春よ
 さようなら
 己の修養の爲に、共に努力し合つて楽しく、親しく、眞實の姉妹の如く交はつて来た友の多勢が結婚に依つて退會されるので竜丘女子青年では十一日紀元節の佳日に全會員出席して、心からなる送別會を開催した。

先づ開會、次で祝詞、記念品贈呈、答詞順次進んでいよ／＼茶菓にうつり、色々の餘興なごも出て一切を忘れて面白おかしく過ぎたがやがて時間で吾れに歸り別れを惜んで五時閉會した。

◆シーズンの◆
 ◆トップを切つて◆
 陸軍記念日 祝(音楽)
 ◆音楽會開催◆
 費用に當て、その意味から村一般の賛同を希望し軍人會へも後援交渉中である。

方面事業理事會

竜丘方面事業理事會は二月二十日午後一時より役場内に理事會開會代田會長、岡村副會長、下平(芳)、木下、下平(三)岩堀、塚平(榮)氏出席春期總會の期日事業及東京朝日新聞社の災害學童慰問運動により得たる金額中未縣へ七百一十四圓四十錢内本村分十圓也の慰問金の使途に付協議し村内四名の養蠶不足乳兒に分與する事を決定し午後四時閉會した

丘のニュース

●尙武會主催の歸郷兵歡迎會來ざる事。
 二、三丁以外に謂きも政府に於て妥當認め得る迄の差出及配達を待たない限りその附近にポストを設置し得ず。
 以上の様な理由の爲に貴殿の説には賛成しながらも學校へポストの新設は實現出来ないので尙日本中何處にも學校のものにポストを備へた處は殆んど見ない。なぜならばポストを備へてゐる以上その責任者は切手の賣捌きを必要條件とされてゐるからである。余事ながらごんな山間僻地に

反響欄

日常社會生活の中に痛感する矛盾や、不正や痛恨すべき記事その他短文の事紙上匿名隨意載否は一任を乞ふ

ポストに關して
 高賀生へ
 郵便局
 一、ポスト設置に關して政府の規則では特別の事情に依らない限り現在ポストより三丁以内へはポストの新設は出

迅速◆叮嚀◆安價
 胖物は 田中胖物店
 ◆入學洋服は特に勉強致します

一度御出よ初午に
 歸りの土産は 奴餅

移轉披露
 今般天龍橋架替の爲左記へ移轉致しました
 何卒舊に倍して御引立を願います
 時又 信産銀行 新生堂文具店
 電話二〇番

御菓子
 生菓子 一斤菓子
 慶弔用 引菓子
 時又 藤屋菓子店
 電話一七番

改築披露
 ◆貸席が出来ました
 ◆一度來堂御試食下さい
 ◆初午は特に大勉強致します
 時又 簡易食堂 クロバー食堂
 電話二〇番

入學の仕度をや!
 學生服 學帽
 カバン 他胖物類
 時又 吉田屋胖物店
 格安に勉強致します

青物販賣
 高價に仕入も致します
 ドン／＼御持ち下さい
 時又 ちやわん屋
 (伊原商店)

初午の御土産は
 おいしい久米屋の
 ◆新くさもち
 ◆うぐひすもち
 大當りも久米屋が一番!



家庭 入學前の 兒童への關心

東平

最近多くの人々が入學前幼兒の研究に着眼し、其の必要を盛んに唱道される様になつた中學校、大學に上位への教育を考究するに反對に小學校の教育を下に下に延長して行くか云々する傾向の生じた事は當然の事云々、極めて重大な意義を有する問題である。幼兒教育の重要性は月並的な言葉で云へば幼兒期をして幼兒の世紀たらしめよの一語に盡きる思ふが、更に之を具體的に各方面より考察して見たいと思ふ。

間食の心得十ヶ條

- 腹持よきものは避けよ。
消化吸収よきものを取れ。
容積あつてすぐお腹にまつもの。
水氣少きものは適當に水氣を加ふべし。
含水炭素を主眼とせよ。
ウイタミンに富むはよし。

絶好の滋養物(米糠)

馬鹿にするのは愚の骨頂!

米糠の中には澤山の各種ウイタミン、含水炭素、無機物、蛋白質それに多量の脂肪を持つてゐます。この澤山の種々の願つてもない栄養を持つてゐる糠を無駄にするのは何といふ考無しのことです。...

こんな事も 知つてゐるとお得です

家庭の重寶 實驗から得る話

足袋をきれいに洗濯する法
大根は尻つぼでも切れ端でも何でもよいから、先づ大根おろしを少し多量つくりまます。...

家庭欄

農村にふさわしい
衛生、育児、料理、裁縫、経済、その他
特に經驗に依る記事
を歓迎します。

文藝欄

創作、短篇、感想、俳句、短歌、詩、民謡
文はあまり長くない
ものを四十行位迄願
ひます。

女性の投稿

楽しんでゐた記念節も宋の
中妹や、姪や、甥は白足袋
をはいたり、きれいな着物を
着たり、折り目の正しい服に
着替へたり、何んもなくそは
〜してゐる。その中に父も
来て子や孫と一緒に出て行く
笑ひ合つての話しもだんく〜
遠くまで行く、日がさした
のか障子がパツト明るくなつ
て木影がくつきり寫し出され
た。外へ出て見たら大國旗が
空高く朝日に輝いて神々しく

妙な聲は?

「おろくさん方の
何人何々の中に二十四
才何々何々の男が、何
の家で、昨年來、何
々より何々した女中
井上ふみさん二十六を、何口
何々して、立、何を何して、
何もなくふみさんはおき〜
した何々で〜
妙な聲で妙な聲が聞えて來
るので三人は思はず聞耳を立
てた。六十才位の女の聲で
ある。又續いて聞えてくる。
だから何々々して何を何
ゆれてゐる。私は校庭になつ
かしい友三朝の言葉を交わす
元氣な姿が次ぎから〜と思



短片

「僕は単怯だ云ふ氣持をか
すかに感じるのですが貴女に
分りますか?」
「い、え」
「ではもう一言、貴女に對し
て付加へたらお分りせう」
だが京子さんは何んとも答
へなかつた。じつと見上げた
多様な美しい目にはかすかに
涙が光つてゐた。
「もうお別れしませう」
「え、...でも」

能壇

爆撃機走學生となりし
中島兄に寄せて 月雨
下萌や機に萬福のむかひかぜ
同じく贈られし寫眞に
君立てる機より霞むで格納庫
憩ふ機の上にも陽炎哉
羨望

神白

なかつた。
「それも貴男の罪ではありま
せん。みんな...」
京子さんは、まで云つて
こらへ兼ねた如く泣き出した
「でもそんな事はさうでもよ

評判の良いお茶

時又 青嶋 問店

貸本を御利用下さい

三月後れ主婦之友愛讀者募集
▼只今より十二月號が入荷しました。
▼外にも各種あります。
時又 文具 久米屋書店

酒は喜久水

時又 伊原 商店